

三区 だより 高木つよしタイムズ

発行
自由民主党
福井県第2選挙区支部
〒914-0805
敦賀市鉄物師町4-8 森口ビル2F
TEL : 0770-21-2244
FAX : 0770-21-2243

ご挨拶



日頃のご厚情に深く感謝申し上げます。さてこの度、関係の皆様のご尽力により、今庄の旧宿場町の町並みが文化庁により国「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。県内では「若狭町熊川宿」「小浜市小浜西組」に続いて3件目となります。この選定により今後国からの支援も比較的受けやすくなり、観光資源として、又、文化の承継と言う意味において、大いに期待が持てるものと思います。私も地元の皆様と一緒に保存や整備に微力を尽くしたいと考えています。ご指導よろしくお願ひいたします。

又、未だ終息の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症ですが、ワクチン接種も始まりました。接種に当たって、皆様に知って頂きたい情報を掲載いたしましたので、是非ご覧下さい。改めて、亡くなられた方々に心からのご冥福をお祈り申し上げますと共に、療養中の皆様にお見舞い申し上げます。

何かと大変な時期ではございますが、ご健勝ご多幸をお祈り申し上げ、今後のご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

衆議院 議院運営委員長

高木毅

今庄宿が伝統的建造物群 保存地区に指定されました

伝統的建造物群保存地区は、文化庁が市町村からの申出を受けて、我が国にとって価値が高いと判断したものを重要伝統的建造物群保存地区に選定します。

今庄地区は、17世紀初めに北陸道の宿場町として成立し、明治以降も地域の中心として、また鉄道の町として発展しました。街道沿いには江戸後期から昭和30年代にかけて建てられた、重厚感のある町家が立ち並びます。

街道沿いに多く見られる平入の主屋は、木太い登梁を二階の軒先に突き出す豪壮な造りが特徴的で、二階の両端には袖壁を付し、一階の正面の壁を前側に傾けるものもあります。また、各所に妻入の主屋も見られます。冬期に設置される雪囲いも特徴的で、越前地方の豪雪地に発展した旧北陸道の宿場町の姿を良く伝えているという理由から指定されました。



切妻造平入で、木太い登梁と袖壁が特徴的な町家が並ぶ
(提供:南越前町教育委員会)



外壁や軒裏を壁土で塗り込む地区内最古の町家
(提供:南越前町教育委員会)



享保元年（1716年）創業の酒蔵



今庄十割そばが楽しめる 旧旅籠「若狭屋」



「京藤甚五郎家」 脇本陣にも指定された今庄有数の旧家



フェイスブックにて、日々の活動をお知らせしています。
ご意見もお寄せください。

高木毅フェイスブック

検索



新型コロナワクチンについて 皆さんに知ってほしいこと

～ワクチンに関する情報を、正確に、わかりやすくお伝えします～



新型コロナワクチンは、発症を防ぐ効果が認められています。

今回新たに承認された新型コロナワクチンは2回の接種によって、95%の有効性で、発熱やせきなどの症状が出ること（発症）を防ぐ効果が認められています。

（※インフルエンザワクチンの有効性は約40～60%）

新型コロナワクチンは、あなたご自身のためだけでなく、医療機関の負担を減らすための重要な手段にもなります。

新型コロナウイルスは、まだまだ未知のことがあります。このウイルスの感染により、令和3年1月末までに6千人以上の方が亡くなり、3万人以上の方が入院されています。特効薬も開発中の段階です。

こうした中で、多くの方に接種を受けていただくことにより、重症者や死亡者を減らし、医療機関の負担を減らすことが期待されます。

どんなワクチンでも、副反応が起こる可能性があります。

一般的にワクチン接種後には、ワクチンが免疫をつけるための反応を起こすため、接種部位の痛み、発熱、頭痛などの「副反応」が生じる可能性があります。治療を要したり、障害が残るほど副反応は、極めて稀ではあるものの、ゼロではありません。（予防接種による健康被害は救済制度の対象です。）

今回新たに承認されたワクチンの国内治験では、ワクチンを2回接種後に、接種部位の痛みは約80%に、37.5度以上の発熱が約33%、疲労・倦怠感が約60%の方に認められています。

ワクチンに含まれる成分に対する急性のアレルギー反応であるアナフィラキシーの発生頻度は、市販後米国で100万人に5人程度と報告されています。日本での接種では、ワクチン接種後15～30分経過を見て、万が一アナフィラキシーが起きてても医療従事者が必要な対応を行います。



新型コロナワクチンの承認後も、継続的に安全性を確認します。

アナフィラキシーや医師が予防接種との関連を疑う重篤な症状が発生した場合は、法に基づき報告を受け、専門家が評価します。こうした報告の中には、ワクチン接種後の持病悪化・死亡のように、ワクチンとの因果関係が直ちに評価できない事例も含まれますが、幅広く収集し、評価を行っています。

加えて、1～2万人の先行接種者を含め、延べ約300万人の方々について、ワクチン接種後の症状等の調査を予定しています。

このように、ワクチンの安全性を継続して確認し、安全性に関する情報を提供していきます。

新型コロナワクチンの接種には、優先順位があります。

全国民に提供できるワクチンの数量を確保することを目指しています。しかしながら、ワクチンの調達が段階的にならざるを得ないことから、まず、重症化リスクの高い方から順に接種することで、重症者や死亡者を減らすことを優先します。また、新型コロナウイルス感染症患者に対する医療提供体制を守ることも不可欠です。

このため、①新型コロナウイルス感染症患者等に直接医療を提供する医療従事者等、②65歳以上の高齢者、③基礎疾患有する方や高齢者施設等において利用者に直接接する職員、の順で接種をしていく方針です。その後、16歳以上の方に、順次接種が行われます。

新型コロナワクチンは、誰もが全額公費（無料）で受けられます。

外国人も含め、接種の対象となるすべての住民に全額公費で接種を行います。接種の時期が近づいたら、市町村から、接種のお知らせや接種券をお送りする予定です。

ワクチンについて、正しく知ったうえで判断しましょう。

新型コロナワクチンを承認し、接種をお勧めするにあたって、国内外の数万人のデータから、発症予防効果などワクチン接種のメリットが、副反応といったデメリットより大きいことを確認しています。国民の皆さまが納得して判断をしていただけるよう、国としても情報提供に努めてまいります。

（首相官邸HPより引用／掲載の内容は、今後見直される場合があります。）

厚生労働省
新型コロナワクチン
コールセンター

0120-761770

※電話番号のお掛け間違いにご注意ください。

受付時間

9時00分～21時00分
(土日・祝日も実施)

